



# おちほ

第94号 令和3年3月25日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 太田 正 則  
TEL 0748-77-2299 FAX 0748-77-5588 <http://ochiho.noor.jp/>



## 「コロナ禍の四まね」

今年、明治30年以來124年ぶりに、  
2月2日が節分でした。

利用者さんには混乱は見られない  
ものの、12年前を経験している職員  
はもちろん居ない為、節分2月  
3日が身体に沁みついている職員は  
違和感でいっぱいでした。

三密を避けて、男子棟は少し広い  
食堂内、女子棟、支援棟とそれぞれ  
の生活スペースに分かれて

「鬼は外！福は内！」

「コロナ外！福は内！」

と邪気を追い払い、一年の無病息災  
を願いました。利用者さんは投げた  
豆を拾って食べようとされる方もお  
られる為、一部では屋外に向けて投  
げるなどの配慮も行いました。この  
一年間分の過ごし方や豆まきの変化  
に対して感情面でどう表現されるか  
心配でしたが、利用者さんは例年の  
如く鬼を怖がる方や笑顔で鬼に近づ  
く方もおられ、変わらない反応に職  
員は一安心でした。

昨年の節分では新型コロナウイルスの  
ニュースに戦々恐々としながらも、  
まさかここまで長い戦いとは思って  
いませんでした。今年の節分はそん  
な一年間の思いも強く込めながら  
行った豆まきでした。

## セクハラは秘境

理事長 山下陽一

## セクハラは秘境

二〇二〇年十一月、朝日新聞に衝撃のニュースが出ていました。「グロー理事長北岡賢剛氏、セクハラ損害賠償につき東京地裁に民事訴訟を起こされる」という内容です。セクハラ・パワハラなどハラ・スメントについては、これらの行為の禁止を明記するよう厚労省はモデル規定を示して就業規則の改定を促していました。理事長はこの指導に従って議案を作成し理事会で承認を得なければならぬのですが、提案者本人がそれを犯してしまい被告となりました。

この訴訟について、同年十二月一日、被告法人から「一連のハラスメント報道に対して」というアピールがあり、その中は、「…当方の主張を的確に行い、適切かつ真摯に対応」というものでした。このアピールは弁護士がすでに関与している内容かもしれませんが、色々と気配りができている内容だと思えます。まず、「真摯に対応」ということ。これは裁判の進行に「真摯」に対応するということであって、被害者に対して「真摯」な対応をするということではありません。また、同被告はメディアで報道された内容に対して一言も発していません。一切

何も告白していません。国会の委員会において政府機関の委員を辞任する理由は何かの質問に、辞任の書面には「一身上の都合」と書いてあったそうです。これは「一切の立証責任は原告にある」という訴訟する上での戦術なのでしょう。もしかするとわいせつ罪としての刑事訴追を念頭においた戦略に基づく戦術かもしれません。同被告は社会福祉事業に何年携わってきたのか知りませんが、社会的に隅っこに追いやられている人や弱い立場にある人たちの側に立って汗する仕事はするのですが。

一般的にいつてこのようなセクハラ事件は、人間関係が限られている狭い職場環境の中で、一人に権限が集中している状況の中で発生するようです。しかも、当事者は加害したという自己認識がないのが常です。

一定の目標を遂行する仕事集団でトップリーダーが強烈な自己顕示欲・上昇志向・承認欲求の野心三点セットをお揃いならば、周囲の人たちは上目遣いのボチになるか、役を干されるかのどちらか。そんな雰囲気職場の人間関係を仲間内での適切な間合いを置くことを必要とせず、雰囲気に乗ままぬ者は仲間内から多勢を頼んで排除することができるのです。こ

のシステムの構築は「我が世の春を謳歌」する「秘境」となるのです。

## セクハラは秘境

職務上の出張でも日常とは全く違う解放された気分になるらしく、ホテルのバーで無理強いして酒を飲ませ前後不覚にして部屋に連れ込みワルサをするというのはセクハラ訴訟でよく聞く話。被告側がこれから「争う事実」の一つでしょう。被告側は被害者が主張する事実の証拠を求めます。被害を受けた女性たちは人権侵害の立証のために、個人の身体に闖入し脂ぎった食指で獲物を漁ったということや口にするだけでもおぞましいのに被害を受けた時刻、場所、行為の内容などを微に入り細に入り証明しなければなりません。被告側はその都度被害者を萎縮させ事実否定に持ち込む作戦もあるでしょう。被告の弁護の目的は無罪に持ち込むことです。

北島三郎がシャクリを付けて歌います。「辛い悲しい別れがきたね…」（涙の花舞台）。

思ってもいなかったことで花舞台を降板させられた役者の帰るところは年取った父母のいる郷里、というのは町芝居の人情話にあるよくあること。花舞台にあった自分を貶めた者どもを恨む気持ちはよくわかります。しかし徒党と排除で豪胆に人を押しつけてきたそのツケは払ってもらわなければなりません。

## ポスト・セクハラ

世間によくあるボスのセクハラは現代の社会構造の問題を凝縮しているように思えます。確かに敗戦直後壊滅的社会情勢にあって一切が乏しい生活から豊かな社会を目指すべく高度経済成長に向かう時期は押せ押せムードで連二無二働く企業戦士が必要だったのでしょう。

先の国際首脳会議でアメリカカンファーストのトランプの主張に対して各首脳たちが息巻く中、ドイツ首相のメルケルがトランプをいさめようとして詰め寄っていた動画は記憶に新しいところです。

繁栄した世界での発展は剛腕のリーダーではなく、柵を超えて平等で持続可能な世界を目指す観点に立つことが求められています。言い換えればブル(雄牛)・メソッド(註◎山下!)からママン(母性)・メソッド(註◎山下!)へシフトしなければならぬと時期が来ていると主張したいのです。先のトランプとメルケルの例はブル・メソッドからしなやかでしたたかなママン・メソッドへのシフトが必要なることを象徴しています。

そこで提案します！猛威を振るうコロナ騒動もあり、うつつうしいハエのみならず、その気にさせ推薦状を書いたトラにもご遠慮いただき、機構組織の空調システムをリニューアルしたら！

(二〇二二・二・八)



# 新型コロナウイルス禍の二年

寮長 太田 正 則

この一年、利用者・職員共に大変な環境の中での生活となりました。その様子を見なさんと共有できればと思います。

一月二六日

新型コロナウイルス感染症患者が世界で七万五千人以上の中、ドイツやインド、ブラジルで六百人以上の感染者確認

二月二〇日 職員へお願いⅠ

コロナ感染防止対策に努めて頂く事と、サージカルマスク品薄で入手困難なことから、寮内業務で必要と感じたときは、各自で準備・装着。

二六日 職員へお願いⅡ

国からの通知により、感染防止対策マニュアルを提示。出勤前・退勤時検温、手指消毒、うがい、マスク着用、三七・五度以上の発熱時の対応など。

三月三日 コロナ感染防止対策

各部署責任者会議

四日 職員へお願いⅢ

春季帰省の中止、寮内外の行事・会議の短縮・縮小・延期・中止の決定、食事・日中活動等全ての活動を棟別単位に変更、業務中以外での職員の行動自粛。

十二日 職員へお願いⅣ

ゴム手袋入手困難なため、使用制限し、代替品で対応

三〇日 職員へお願いⅤ

他県施設クラスター発生情報提供による注意喚起と感染防止の確認検温、マスク着用、三密回避徹底

四月一日 職員へお願いⅥ

業務中は全職員マスク着用（各自確保後、費用を支給）  
八日 感染拡大防止措置として短期入所事業停止（四月十日～五月三十一日）寮内にてお花見会  
一〇日 生活支援員に個人用携帯アルコール配布

十六日 全国に緊急事態宣言発令

①利用者・職員に発熱者確認。利用者とは隔離、職員静養後自宅待機。

二〇日 職員へお願いⅦ

出勤時全職員体温チェック表記記入  
②職員二名発熱、静養後自宅待機  
二四日 職員へお願いⅧ  
コロナウイルス感染防止並びに拡散防止に関する職員自宅待機中の勤務の取り扱いについて

五月一日 朝礼のICT化、①の

自宅待機職員職場復帰、氏神祭り・

開寮記念日行事中止

二日 利用者発熱のため通所生活

介護（五月十日）まで閉所、一部

利用者訪問支援実施。

四日 ②の職員業務復帰

六日 ③利用者一名発熱のため隔離して観察

十二日 ④職員一名発熱、静養後

自宅待機

十六日 ③の利用者通常生活に復帰

十九日 感染拡大防止のための分散食事対応のため配膳コンテナ購入、④の職員業務復帰

六月七日 「注意ステージ」へ。

二四日 ⑤G日利用者一名発熱

静養後自宅隔離

二五日 職員へコロナ感染対策協力金支給。

七月一日 短期入所事業再開

七日 ⑤の利用者通常生活に復帰

十七日 職員へお願いⅧ

「注意ステージ」から「警戒ステージ」へ。より一層の防止対策の徹底

三一日 夏季帰省中止を決定

八月四日 職員へお願いⅨ

市内クラスター発生を受けて、再度感染防止対策の徹底。

九月一日 短期入所事業再停止

【再開時期未定】

一〇月一日 全国GOTOキャンペーン開始

十五日 「警戒ステージ」から「滋

賀らしい生活三方よしステージ」

新しい生活様式の実践」へ。

十六日 コロナ感染防止対策各部

署責任者会議

十八日 職員へお願いⅩ

新ステージに移行しましたが、G

OTOキャンぺーン開始により、

気を緩めることなく、引き続き感

染防止対策に努める。

二〇日 短期入所事業再開決定

【十一月一日～】

二六日 冬季帰省中止決定と面会

の期間限定【十一月九日～十二月

十一日】を実施

十一月一日 職員へお願いⅪ

新たな感染拡大を受けて、今一度

感染防止対策マニュアルの確認と

徹底をお願い。

十七日 「三方よしステージ」から

「注意ステージ」へ

二一日 感染性胃腸炎発症確認。

感染拡大防止対策による対応開始。

二八日 感染性胃腸炎終息。

十二月十四日 ⑥職員一名発熱のため\*静養(翌日陰性確認) 二十一日業務復帰

二二日 ⑦職員一名発熱のため静養(翌日陰性確認) 一月一日業務復帰

二九日 職員へお願いⅫ

コロナ感染症に係る感染拡大防止

対策マニュアルの徹底を再確認、

職員へ今一度行動の自粛を。

一月五日 「注意ステージ」から「警

戒ステージ」へ。

利用者・職員・その他多くの方

のご協力によって今日があります。

生活活動が制限されたことによ

り、イレギュラーな出来事への適

応が難しい方にとっては逆に安定

に繋がっている様子も見られ、改

めて一人ひとりの特性に合わせて

生活の提供の難しさを感じました。

自然環境と社会生活と個人の欲求

充足の折り合いのつくところも、

一人ひとりの価値観の違いに大き

く左右されるところではあります

が、一番大切な「命」を守ること

を共通認識として、それぞれの立

場で話せる機会を、職場内外で作

りたいと思います。



初めまして、昨年の11月から女子棟で働かせて頂く事になりました。杉山翔子です。

高校の時に福祉系の学校を卒業したのですが、接客業や製造業の仕事を経験とし、再び福祉の道を目指すことになりました。



△綾子さんと杉山翔子 st

落穂寮に就職しようと決意したのは知的障害を抱えている叔母がきっかけです。叔母の影響もあり生活支援を勉強したいと思い、落穂寮に入職しました。学生時代に学んでいるとはいえず、実際に働くのは初めてです。

入職して三カ月。私にできるだろうかという不安もありましたが先輩方の優しい指導と利用者さん達の笑顔で頑張れています。まだまだ未熟者ですが、末永く宜しくお願い致します。

# 新人紹介

今年度2度目の新人紹介です。今回は男子棟一名女子棟一名、そしてお炊事に三名の新人が加入してくれました。今まで女性中心で回っていたお炊事でしたが、将来を見据えて今回若々しい男性三名が一気に入職されました。これまでの落穂のおいしいメニューを引継ぎ、かつ発展させて新しいおいしさを提供してくれるのを利用者も職員も楽しみにしています。これから末永くよろしくお願ひしますね。

初めまして、1月4日から炊事でお世話になっている藤嶋良太です。

入職して二カ月程経ちますが、まだまだ覚える事がたくさんありバタバタの毎日です。しかし優しい先輩方のおかげで楽しく仕事に励んでいます。新型コロナウイルスの感染



△藤嶋良太 st

防止対策の影響で今は炊事以外のスタッフの方と顔を合わすことがすくないですが、今後は名前と顔を覚えて話かけられるようになっていきたいです！皆さんに毎日おいしく楽しく食事をさせていただけるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

皆さん、初めまして。今年の2月から男子棟で働かせていただくことになりました宮川和樹と申します。どうぞよろしくお願ひします。



△淳さんと宮川和樹 st

以前はスーパーマーケットで品出しや接客などの仕事をしていました。落穂寮に就職しようと思っ

迷いはありませんでした。障がい福祉に関する知識も経験もなく、まだまだ未熟ですが、精いっぱい頑張ります。

初めまして、12月から炊事に入職しました藤井聡志(27歳)です。どうぞよろしくお願ひします。

特にこれといった趣味はありませんが、自身のリフレッシュタイムには幅広い音楽を聴いており、その中でもブルーハーツは定番で聞いています。

他にも、最近気になっていることと言えば、イーロンマスク氏がCEOを務めるスペースXの宇宙



△藤井聡志 st

事業に関してです。彼は本気で人類が火星に移住できると考えており、どんなに不可能だと人から言われても、ここまでやり遂げている彼の情熱に私は感銘を受けました。入職してから2か月余りが経ち、調理を任せられ始めていますが、先輩方に技を伝授していただき、おいしい料理の作り方を覚え、頑張っていくと思います！

この度、調理員として入職しました竹本周大と申します。入職する以前は大阪で芸術療育に特化した放課後デイサービスの指導員をしていました。兼ねてから食事の面でのサポートをしたいという強い思いがあったため、調理員として働くことを

決意した所、落穂寮の募集に会い今に至ります。これからは食事の面で利用者様の方々を笑顔にできるよう尽力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。



△竹本周大 st



## 秋の造形活動

新型コロナウイルスが流行してから半年以上たった10月。利用者さんや職員が制限された生活にも慣れ始めた頃、「利用者さんみんなに楽しんでもらえる活動をしてほしい」という職員の想いもあり、木の実や落ち葉を使って秋らしい作品を作ることになりました。

作品を作るためには材料が必要になります。午前の歩行や、午後に落穂寮内を散歩した時に利用者さんと集めました。沢山の落ち葉や木の実、中にはススキなどを見つけてこられる利用者さんもおられました。

活動当日、模造紙を広げて利用者さんと職員みんなで作品を作りました。ポンドで落



ち葉や木の実、木の枝やススキを貼ったり、模造紙一杯にスタンプを押してカラフルにしたり、ペンや色鉛筆を使って絵や文字を描いたり、利用者さんみんな思い思いに作品作りをされていました。中には作品作りよりも、楽しそうに笑いながら落ち葉で遊ぶ利用者さんもおられました。次々と行事が無くなったりと、気分転換に外出できなかったりと利用者さんにとっては少し窮屈な生活ですが、そんな中でも利用者さんの笑顔が増えるように、健康に気をつけながら支援したいと思っています。



## Xmasパーティー

12月25日落穂寮のクリスマスパーティーでした。

今回はコロナ禍のため男子棟内で利用者さんの大好きなランチです。メニューは去年と同じです。クリスマスにぴったりのチキンも喉から手が出るほど美味しそうで、利用者さんも楽しく美味しく食べておられました。楽しいランチも終わり、去年はミニコンサートや演奏があったのですがコロナ禍の為、棟内にサンタクロースが来てプレゼント渡しです。

棟内では、利用者さんに思いっきり楽しんでからおうと職員がクリスマス音楽を流して、利用者さんが踊ったりしていました。クリスマスツリーや飾りつけも職員が利用者さんに喜んでからおうと工夫し飾りつけをしました。

待ちに待った、プレゼント渡しです。施設長サンタと、職員トナカイがプレゼントを渡し、写真を撮っていききました。利用者の皆さんは、とてもいい表情でお菓子を食べたり、犬のおもちゃで遊んだり、いつもと違ったことなので、とても新鮮で良い日でした。

次のクリスマスは、全員揃ってコンサートやゲストを呼んで楽しんでもらえますように。



## 男子棟行事

### お楽しみ会

コロナの影響で、利用者さんにとっても楽しみにしている秋の行事レクリエーション大会と親子旅行の開催が出来ませんでした。その代わりに、女子棟では、十一月に「お楽しみ会」を開催しました。昼食に、豪華なランチボックスを注文しました。

職員のお知り合いがされている「TAGOMO」というお店で注文。ランチボックスには、麺や酒粕から作る自家製調味料や地元野菜が使われています。ひじきやかぼちゃサラダ、雑穀米等、色鮮やかなおかずが沢山入っていました。普段のお弁当はプラスチック容器ですが、今回は、紙の容器。写真映りがよい可愛らしいお弁当でした。

利用者さんの反応は...? 普段のお弁当とは違い、色鮮やかなお弁当に目を輝かせ、あつという間に皆さん完食しています。ボリューム満点でお腹いっぱいのはずですが、おやつはゼリーもペロリ。やはりデザートは別腹なのです。

今回は、外に行けずでしたが、美味しいお弁当が食べることが出来た。発酵パワーで身体に元気をチャージし、コロナに負けず、毎日笑って楽しく過ごしています。



### Xmas会

今年も落穂の大事な行事の一つ、クリスマス会はコロナ対策により男子棟と女子棟別々で開催されました。これまでは大きな会場で歌やダンスを楽しむ賑やかな催しでしたが、去年、今年と慎ましく静かなクリスマスのお祝いとなりました。

昼食はいつもより豪華なメニューが用意され、利用者さんも「あれ、いつものメニューと違うぞ」と、おどろきやよろこびを言葉や表情で伝えてくれます。皆さんニコニコで完食されました。食事後しばらく休憩した後はおやつのお時間です。クリスマスのおやつといえはケーキです。落穂でもお誕生日会などで食べる



## 女子棟行事

機会は何度かありますが、やはりクリスマスそのものは別格。今年はおぶりのケーキが何種類も用意され、各々食べたいと思うケーキを選んでもらいました。ボリューム重視か、乗っている果物の種類なのか、色か形か、皆さん悩みながらも選んでもらったケーキをおいしく食べていただきました。さあ、ケーキの後はクリスマスメインイベント、サンタさんからのプレゼント渡しです。今年のサンタさんは女子棟の倉庫の中から登場、名前を呼ばれた利用者さんは満面の笑みでプレゼントを受け取っておられました。何かと息苦しい一年でしたが、その最後の月に一番の笑顔を見る事が出来ました。





## 今年度、 幻の実習生たち

例年であれば、月や季節が変わること  
に保育士実習  
や社会福祉士  
実習対象の実  
習生さんが来  
られる一年で  
した。

利用者さん  
は実習生  
が来ると、手

を引つ張り連れて歩きまわられる方もおられ  
ルンルン♪なご様子が見られ、職員は初心に返る事ができる良い機会でした。

しかし全国的な蔓延により、非常事態宣言や滋賀県におけるコロナステージが「警戒」になる期間が長く、学校の方と予定を組んでは流れるの繰り返し  
の繰り返しの一年になりました。

今年度で現場に受け入れが行えた実習生は、3校5名のみでした。WEB実習を設定された学校もあり、少



▲ちょっと一息…  
2月上旬に咲き始めた梅

しでも協力できたらと思いき、H Eアナログな落穂寮もコロナ禍における時代の流れに乗って、デジタルツールを駆使しながら4名の方の対応もしました。  
いつもは受入れがひっきりなしの状態で「大変だー」と嬉しい悲鳴を上げていましたが、施設保育士の存在や、生の現場感を感じて貰える機会が減ったことに今は悲しさを感じます。  
本来であれば20名以上の実習生が来寮予定だったこと、交流会など含めると沢山の貴重な出会いが流れてしまった事が非常に残念です。  
いつかコロナが落ち着いたら時には、ぜひ見学にでも来ていただき、苦い思い出を上書きできる機会があることを願います。

### ご協力 ありがとうございます

令和3年2月末現在

社会福祉法人椎の木会及び落穂寮の運営にご協力いただいた方に、この場を借りて御礼申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

〈物品の寄付〉

山 本 里 子  
坂 本 フミ江  
黄之瀬 節 子

(敬称略)

ありがとうございました。

### お詫びと訂正

広報おちほ第93号P2「〇△□のない世界へ」の中で、表記に誤りがありました。

正しくは以下のとおりです。お詫びして訂正いたします。

誤…

甲南大学文学部准教授の服部正先生

正…

甲南大学文学部教授の服部正先生

### 泉

今年度は昨年から引き続いてコロナ対策に追われる一年となりました。

落穂寮に住まわれる皆さん、ご家族や関係者の方々のご協力にこの場を借りてお礼を申し上げます。さて、この原稿を書いている時点で新聞やニュースでは盛んにコロナウイルスに対するワクチンの話題が取り上げられています。

今後、落穂寮の利用者さんや職員にも順番は回ってくるとは思いますが、それがいつになるのか、具体的にどのような流れで接種が行われていくのか、今の所全く情報がありません。またワクチンの副作用、接種後どのくらいの間効果が持続するのかなど不明な事も多いのが現状です。それでも少しずつですが長いトンネルの先に光明が見えてきたとも感じます。次回の広報では良い報告ができるように日々邁進していきたくと思っています。

木言

もう起きようか

まだ寝ていようよ

今日はあったかいよ

夜から寒くなりそうだよ

そろそろでしょう

まだまだだよ

花のつぼみが相談してるよ